

## 第8回 地域経済建設委員会

令和6年6月14日(金) 5階 第1委員会室	開会 8時56分 閉会 10時25分
---------------------------	-----------------------

午前8時56分 開会

### ○委員長（渡邊康弘君）

それでは、皆さんおそろいのようなので、始めさせていただきたいと思います。

傍聴の申出がありましたので、これを許可いたします。

また、クールビズ期間でありますので、上着の着脱は御本人の体調に合わせてやっていただければと思いますので、お願いします。

また、本日からきなあつ瑞浪の周年祭が始まっております。ぜひとも委員の皆様におかれましては、担当する所管でもありますので、しっかりと現場を見に行っていただければと思います。

また、16日にコロナ明けで主張大会が開催いたしますので、しっかりと行っていただければと思います。特に委員のメンバーには行っていただければと思いますので、また、事務局で出欠の確認をしておりますので、いける方は出欠、ちゃんと回答いただければと思います。

建設部長より、土岐橋の工事、進捗状況についての説明をお願いいたします。

建設部長 市原 憲君。

### ○建設部長（市原 憲君）

おはようございます。

土岐橋についてです。昨日、新聞で一部報道がされました。土岐橋の下部の、下部工ですね。下部工の際の工事の事故について、事故は令和5年12月20日に事故が発生しました。

新聞報道でもありますけれども、岐阜県の発表によりますと、工事名は「公共大規模特定河川事業」かつ「広域河川土岐橋下部工細部工事」です。

施工業者は、株式会社今井土木。

概要としては、岐阜県多治見土木事務所が発注しました工事において、歩行者の迂回路の一部として、アスファルト舗装して整備しました仮設の歩道で、通行人が歩道脇の水路に転落して負傷する事故が発生しました。

県の対応としまして、岐阜県建設工事請負契約に係る入札資格停止等措置要領に基づいて、指名停止期間として、令和6年6月13日から8月12日までの2か月間、今井土木に対して指名停止を行うということでございます。

土岐橋の進捗につきまして、今井土木が現在、2つの工事を受注してしまっていて、ちょっと左岸工事ですね。左岸の橋台と護岸工事、そして、今回のこの事故があった箇所の支管工事、中島酒造のすぐ横のところに水路の支管が出るんですけど、その支管工事を行うときに、仮設道路として歩道として作ったところで、一部歩道の途中の区間が、70センチぐらいの水路が空いていたということ

で、その安全防護柵をしなかったということで、指名停止ということが生じました。

以上です。

○委員長（渡邊康弘君）

ただ今の説明に対して、質問等がある方はいますか。

2番 大久保京子君。

○2番（大久保京子君）

説明ありがとうございます。

去年の暮れですね。

○建設部長（市原 憲君）

そうです。事故があったのは。

○2番（大久保京子君）

今この、っていうことは私ちょっと分からないので、教えていただきたいんですけど、この時期の設定はどうか。どうなんですか。

○建設部長（市原 憲君）

それはちょっと僕もよくあれなんですけど、多分、労基とか警察なんかの意見なんかを受けて、この時期になったんじゃないかなと思います。

○委員長（渡邊康弘君）

ありがとうございます。県が対応するということになってますので、多分、部長に聞いても分からない範囲というのがあると思います。

また個別に聞きたいことがありましたら、委員会終了後に聞いていただければと思いますので、お願いいたします。

それでは、ただ今から、令和6年第8回地域経済建設委員会を開会いたします。

---

○委員長（渡邊康弘君）

これより、本委員会に付託されました議案の審査を行います。

執行部説明後の質疑にあたっては、一度に複数の質疑は行わず、一問ごとに、できるだけ簡潔な発言をお願いいたします。

また、執行部の答弁にあたっては、関係する係員の入室を認めますので、よろしくをお願いいたします。

---

○委員長（渡邊康弘君）

それでは、議第46号 瑞浪市積立基金条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

本議案について、執行部の補足説明を求めます。

農林課長 伊東範明君。

○農林課長（伊東範明君）

おはようございます。それでは、議第46号 瑞浪市積立基金条例の一部を改正する条例の制定について御説明いたします。

議案集27ページをお願いします。

今回の改正は、瑞浪市積立基金条例、別表中の「瑞浪市農業活性化推進基金」を削除するための所要の改正です。

この基金は、国の中山間地域活性化推進事業に対応するため、農業活性化推進のための企画・調査及び特産物開発に係る事業を実施するために創設されたものでございます。今後、活用の見込みがないことから削除いたします。

議案資料31ページの新旧対照表をご覧ください。

第2条関係の別表のうち、瑞浪市農業活性化推進基金についての名称及び目的を削除いたします。議案集27ページにお戻りいただきます。

附則において、この条例は公布の日から施行することといたしております。

以上、議第46号の説明とさせていただきます。御審議のほど、よろしく申し上げます。

○委員長（渡邊康弘君）

ご苦労様でした。

これより質疑を行います。

ただ今の説明に対して、質疑はありませんか。

5番 奥村一仁君。

○5番（奥村一仁君）

御説明ありがとうございました。基金の活用状況についてですけど、これまで基金がどのように活用されたか、どのような成果が出たのかということについて教えていただきたいです。

○委員長（渡邊康弘君）

農林課長 伊東範明君。

○農林課長（伊東範明君）

先ほども簡単に御説明いたしましたけども、平成9年度に国の中山間地域活性化推進事業ということで、国、県から助成を受けまして実施した事業になります。

内容につきましては、農業の活性化を推進するために、地域特産物の開発などのソフト面の取り組みを支援したものであるということで、平成9年から平成12年度の間、4年間ですね。この基金を活用して実施しております。

以上です。

○委員長（渡邊康弘君）

5番 奥村一仁君。

○5番（奥村一仁君）

実施された期間が、今よりかなり前だったと思うんですけど、このタイミングで基金を廃止する

ことになった理由を教えてください。

○委員長（渡邊康弘君）

農林課長 伊東範明君。

○農林課長（伊東範明君）

事業としては平成12年度に完結しております。その後、この基金を活用する見込みがあったため、これを残したのかということは、ちょっと申し訳ないんですけど、その判断については、現段階では不明です。

しかし、今回の事務の見直しの中で、今後の活用の見込みがないという判断をさせていただきましたため、今回、削除をすることとしたものです。

○委員長（渡邊康弘君）

ほかに質疑はありませんか。

7番 棚町 潤君。

○7番（棚町 潤君）

関連ですけど、この基金会計、今、残金というか、お金はどれぐらいあるんでしょうか。

○委員長（渡邊康弘君）

農林課長 伊東範明君。

○農林課長（伊東範明君）

平成12年度以降、残高はございません。残高ゼロという状況です。

○委員長（渡邊康弘君）

ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ほかに発言もないようですので、質疑を終結いたします。

---

○委員長（渡邊康弘君）

これより討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

発言もないようですので、討論を終結いたします。

これより採決を行います。

お諮りします。

議第46号 瑞浪市積立基金条例の一部を改正する条例の制定については、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。

したがって、議第46号は、原案のとおり可決されました。

---

○委員長（渡邊康弘君）

次に、議第48号 財産の取得についてを議題といたします。

本議案について、執行部の補足説明を求めます。

企画政策課長 工藤雄一君。

○企画政策課長（工藤雄一君）

皆さん、おはようございます。それでは、議第48号 財産の取得について御説明させていただきます。

議案集の29ページ、議案資料の33ページをご覧ください。

本議案は、事務用等端末機器の更新にあたり、その機器の取得につきまして、「瑞浪市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」第3条の規定により、議会の議決を求めらるるものでございます。

取得の目的は、職員が使用する事務用パソコンの老朽化と、Windows11への対応のため、パソコンを更新するものでございます。

取得する財産は、コンバーチブル型ノートパソコン101台、ノートパソコン255台、デスクトップパソコン48台及びマウスなどの附属品でございます。

取得の方法は、一般競争入札でございます。

取得金額は、5,901万5,000円でございます。

取得の相手方は、岐阜県瑞浪市一色町4丁目13番地、株式会社中央ビジネス、代表取締役 桑原一平氏でございます。

以上、議第48号 財産の取得についての説明とさせていただきます。御審議のほど、よろしくお願いたします。

○委員長（渡邊康弘君）

ご苦労様でした。

これより質疑を行います。

ただ今の説明に対して、質疑はありますか。

6番 三輪田幸泰君。

○6番（三輪田幸泰君）

資料の33ページに、コンバーチブルとノートとデスクトップってあるんですけど、このコンバーチブルっていうのは、皆さん今、持っとるやつなんですかね。課長が持っとるのがノートパソコンですか。

○委員長（渡邊康弘君）

企画政策課長 工藤雄一君。

○企画政策課長（工藤雄一君）

今、御質問がありましたコンバーチブル型ノートパソコンというのが、今、私が持っているパソ

コンです。コンバーチブルって変化するという意味なので、これはひっくり返って、こういうふう  
にタブレットのように使えるようなパソコンと。

ノートパソコンというのが、今までのような、パソコンになります。

以上です。

○委員長（渡邊康弘君）

6番 三輪田幸泰君。

○6番（三輪田幸泰君）

その2種類にする理由っていうのは。

コンバーチブルのほうが、私もちょっとパソコンを使ってましたけど、使い勝手はいいような気  
がするんですけども、これは昔で言うCPUの関係で、分けておられるのか。ノートはノートで、  
必要なのか。

○委員長（渡邊康弘君）

企画政策課長 工藤雄一君。

○企画政策課長（工藤雄一君）

主にコンバーチブルパソコンは、市の職員の事務用の職員が個人個人で使うために配付するもの  
で、今、私が申しましたとおり、タブレットのような使い方もできますし、ペーパーレス化してい  
きますので、いろんな場面で使えるように新たに購入するものですが、若干、通常のノートパソ  
コンよりかは費用がちょっと高いものでありますので、職員以外の事務用パソコン、机の上にほぼ置  
いて使うようなノートパソコンにつきましては、通常のノートパソコンを用意させていただく。そ  
ういった計画で導入させていただいております。

以上です。

○委員長（渡邊康弘君）

7番 棚町 潤君。

○7番（棚町 潤君）

あとこれ、デスクトップも50台ほど買われてるんですけど、これ用途は。

○委員長（渡邊康弘君）

企画政策課長 工藤雄一君。

○企画政策課長（工藤雄一君）

デスクトップも購入しているのは、どうしてもシステムとか、そこでしか使わないものとか、机  
の上に固定して、持ち運びせずに机の上で主に使うようなパソコンも当然ありますので、これの中  
には。そういったものの更新についてはデスクトップで出しています。

例えば、附属品と言いますか、その単体のシステムで使うパソコンがもう中にはありますんで、  
特別なシステム、それぞれの課が持ってるシステム、そういったものにつきましては、やっぱりノ  
ートパソコンよりも機能の高いパソコンが必要になる場合もあるわけですから、そういうものに對  
するものとなります。

以上です。

○委員長（渡邊康弘君）

ほかに。

3番 加藤輔之君。

○3番（加藤輔之君）

一般の購入、メーカー価格から見るとどれぐらいまとめて買うと安くなりますか。半額とか、3割引とか。

○委員長（渡邊康弘君）

企画政策課長 工藤雄一君。

○企画政策課長（工藤雄一君）

ちょっと市販のものとの比較だと一概に言えないかと思いますが、やはり入札をかけますので、通常の市販のものよりは低い金額で購入する。当然、スケールメリットもありますので、台数の。市販のものよりは低価格で購入できるかと思ってます。

以上です。

○委員長（渡邊康弘君）

7番 棚町 潤君。

○7番（棚町 潤君）

ちょっとソフトウェアについて質問ですけど、オフィスとか、必要なソフトウェアがあると思うんですけど、その費用はこの中に入ってるんでしょうか。

○委員長（渡邊康弘君）

企画政策課長 工藤雄一君。

○企画政策課長（工藤雄一君）

ソフトウェアと言います、OSはWindowsになりますけども、その中にオフィスですね。オフィス系の、Wordとかですね。そういったものも併せて購入になります。お願いします。

○委員長（渡邊康弘君）

7番 棚町 潤君。

○7番（棚町 潤君）

これは庁内のやつだと、ウイルスバスターみたいなやつは必要ないですか。

○委員長（渡邊康弘君）

企画政策課長 工藤雄一君。

○企画政策課長（工藤雄一君）

ウイルス対策です。セキュリティーに関しては、また別途ソフトと言いますか。

失礼しました。先ほど、棚町委員から御質問いただいたソフトに関しましてですが、オフィスは別でございました。失礼いたしました。

オフィスとか、WordとかExcelというソフトは別になります。

先ほどのセキュリティーソフト、これにつきましてはまた別で契約しまして、サーバーからそのセキュリティー対策をさせていただくというようなことになっておりますので、お願いします。

○委員長（渡邊康弘君）

7番 棚町 潤君。

○7番（棚町 潤君）

ちょっと関連ですけど、そのソフトウェアについてですけど、最近も月払いとか年払いとか、そういう契約になってると思うんですけど、今、どんな契約になってるんですか。

○委員長（渡邊康弘君）

棚町委員、パソコンの購入のやつなので、ソフトの購入は別途になってくると思うので、審議外で聞きたい場合は、直接確認していただければと思うので。

これ、そのまま回答がないと、これの議決に問題があるようであれば聞いていただいて構いませんけど。

○7番（棚町 潤君）

じゃあ、後で教えてください。

○委員長（渡邊康弘君）

4番 榛葉利広君。

○4番（榛葉利広君）

これホームページ上でも公開されとると思いますけど、入札時、何社ぐらい応札があったか。

○委員長（渡邊康弘君）

企画政策課長 工藤雄一君。

○企画政策課長（工藤雄一君）

今回の入札につきましては、2社指名させていただきましたが、1社辞退ということで、1社が落札されています。

以上です。

○委員長（渡邊康弘君）

4番 榛葉利広君。

○4番（榛葉利広君）

ちなみに市内の業者さんですか。それは言えればですけど。

○委員長（渡邊康弘君）

企画政策課長 工藤雄一君。

○企画政策課長（工藤雄一君）

すみません。指名入札じゃなくて、一般競争入札でございました。失礼いたしました。

残りの1社は、東濃の業者でございますが、市内の業者ではありません。

○委員長（渡邊康弘君）

1番 福永泰子君。

○1番（福永泰子君）

庁舎内がどれぐらいの規模なのか分からないので、教えていただきたいんですけども、こちらのパソコンでどれぐらいのものをカバーできるのか。全体で幾つ使われてるうちの、これがどれだけかかっていうことを教えていただきたい。

○委員長（渡邊康弘君）

企画政策課長 工藤雄一君。

○企画政策課長（工藤雄一君）

今回のこの事務用の更新につきましては、令和5年と令和6年の2年の計画で導入をさせていただいております。令和5年6月議会で、まず、必要な部分の287台分の購入につきまして、財産の取得として上げさせていただきましたが、今回の購入につきましてはその残りです。

今回は404台で、すみません、令和5年と令和6年の計画で、これで必要な部分の更新が終了となります。

以上です。

○委員長（渡邊康弘君）

ほかに。

4番 榛葉利広君。

○4番（榛葉利広君）

最初にというか、今、部長さん方が持ってみえるサーフェイス、課長さんがお持ちのやつはちょっとまた変わってますよね。ここら辺は何か理由があるんですか。

○委員長（渡邊康弘君）

企画政策課長 工藤雄一君。

○企画政策課長（工藤雄一君）

部長級で今持ってるパソコンにつきましては、やはりちょっと機能がこのパソコンよりもいいというものでございますので、台数がやっぱり、今回と去年と取得してるもの、コンバーチブルノートパソコンは出しておるんですが、経費のことを考えて、ちょっと機種は変えてあります。

以上です。

○4番（榛葉利広君）

節約したと。

○委員長（渡邊康弘君）

ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

発言もないようですので、質疑を終結いたします。

---

○委員長（渡邊康弘君）

これより討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

発言もないようですので、討論を終結いたします。

これより採決を行います。

お諮りします。

議第48号 財産の取得については、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。

したがって、議第48号は、原案のとおり可決されました。

---

### ○委員長（渡邊康弘君）

次に、議第50号 市道路線の認定について、及び議第51号 市道路線の認定についての2議案は、関連性がありますので、一括議題といたします。

本2議案について、執行部の補足説明を求めます。

土木課長 中村恵嗣君。

### ○土木課長（中村恵嗣君）

おはようございます。それでは、議第50号 市道路線の認定について説明します。

議案集は31ページ、議案資料は35ページとなります。

議案資料で説明します。35ページをお願いします。

この議案は、開発で分譲された住宅地内の道路について市道認定するものです。

場所は土岐町の一日市場、小木曾歯科クリニックさんから西側へ300メートルほど行った住宅地内の路線です。赤色太矢印で示しております。

起点、土岐町字虫塚1077番5地先から、終点、土岐町字虫塚1069番4地先まで、92.8メートルを「虫塚1号線」として認定します。

虫塚1号線は、最小幅員が6メートルの車道で、民間事業者が宅地分譲するために築造した道路です。開発にあたり協議を行い、市道の規格に合った道路ができております。分譲後、家屋が立ち並び、住民が生活し、公共性が高まったため、市道に認定するものです。

続いて、議第51号 市道路線の認定について説明します。

議案集は32ページ、議案資料は36ページとなります。

こちらも議案資料で説明します。36ページをお願いします。

この議案も先ほどと同様に、開発で分譲された住宅地内の道路について市道認定するものです。

場所は稲津町小里、市道下小里・川折線沿いで、山の田のバス停の北側約80メートルほどのところに分譲された住宅地内の路線です。赤色太矢印で示しております。

起点、稲津町小里字上馬場123番6地先から、終点、稲津町小里字上馬場115番2地先まで、51.0メートルを「上馬場1号線」として認定します。

市道上馬場1号線は、最小幅員が4メートルの車道で、転回広場が2か所あります。先ほどと同様に家屋が建ち並び、公共性が高いので、市道に認定するものです。

以上、議第50号、議第51号 市道路線の認定の説明とさせていただきます。よろしくお願ひします。

○委員長（渡邊康弘君）

ご苦勞様でした。

これより質疑を行います。

ただ今の説明に対して、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

別段発言もないようですので、質疑を終結いたします。

---

○委員長（渡邊康弘君）

これより討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

発言もないようですので、討論を終結いたします。

これより採決を行います。議第50号及び議第51号の2議案を一括して採決したいと思います。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認め、本2議案を一括採決することといたします。

お諮りします。

議第50号 市道路線の認定について及び、議第51号 市道路線の認定についての2議案については、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。

したがって、議第50号及び議第51号の2議案は、原案のとおり可決されました。

---

○委員長（渡邊康弘君）

以上で、本委員会に付託されました議案の審査は、全て終了いたしました。

審査結果の委員長報告につきましては、委員長に一任願ひします。

ここで、執行部の皆様は退席をお願いします。

〔執行部 退席〕

---

○委員長（渡邊康弘君）

次に、1、ブラッシュアップ事業についてを議題とします。

皆さんにブラッシュアップ事業参加事業者への訪問をしていただきました。そちらに関しまして、各委員から意見も挙げていただいております。

こちらに関しましては、Dropboxに入っておりますので、皆さん、確認いただいております。

また、文章に書いていただいておりますが、それ以外にも直接話した中で感じたところもありますので、各委員の皆様感じたことを書類と併せて説明いただければと思いますので、お願いいたします。

それでは、訪問順に行きたいと思いますので、ヤマスエさんに行かれました加藤委員からお願いしてもよろしいですか。

奥村委員が先ですか。

**○3番（加藤輔之君）**

ちょっと奥村委員、先にやって。

**○委員長（渡邊康弘君）**

先でお願いします。

**○5番（奥村一仁君）**

ヤマスエさんにお伺いしてきましたが、全体的に非常に良い事業だったということをおっしゃってみえました。

特にこのヒアリング内容に記載してありますが、商品が売れる、売れないというのは別問題で、こういうふうにならぬ、何て言うんですか。企業と、ブランドの企業とコラボレーションしたことで、いろんなアイデアが浮かびましたし、自分が作った商品っていうのをビームスさんに認めてもらえたということがすごくうれしかったということをおっしゃっていました。

また、この事業をきっかけにして、他の商品も開発して、その商品開発をかけて東京のほうのクラフトフェアで出店できることになったということをおっしゃっていました。

また、事業とは直接関係ないですけど、ヤマスエさんのインスタグラムがあつて、そこで作って商品を紹介していたところ、かなり有名な方にいいねを押していただいて、それがいろんな方の目に触れて、少しずつではありますけど注文が入ってるということをおっしゃってたので、全体的に非常に良い事業だったというふうにおっしゃっていました。

以上です。

**○委員長（渡邊康弘君）**

それでは、加藤議員、よろしいですか。

**○3番（加藤輔之君）**

今、言われたのとダブるわけですけども、もともとヤマスエさんは下請っていうか、いろんな商社から頼まれたものをそのまま作ってやるという、そういう状態でずっと来られて、そういう仕事をやっとなつた。

一時はバブル絶頂期は物すごく景気がよかって、特にアメリカが中心になったということで、花

瓶なんかを作って非常に盛況であったということやけど、それ以後、どんどんと衰退していったということで、その中で何とかせなあかんという。

これは窯焼きさんの共通の悩みでもあるわけですけども、その中でいろんな研究をして、商品開発を一生懸命やってきた中で、今回のような花瓶の釉薬を発見して、それを一生懸命やっとなったところ、商工会議所が、ぜひ何かアクションを起こしたらどうやというこで持ってきたという。

そんな中で、今回のいろんな企画等に採用されたということで、非常に勇気づけられておるということ。

まだ結果として、しっかりした数字は出ていないけども、ああいう小さな花瓶に、花瓶やマグに対して、マグカップ1個で1万5,000円も出して買うお客がおるということが分かったということも勇気づけられておるとい、そういう状況を確認して、今、一生懸命SNS等、ネット通販で試みておる。

その中で、ドジャースの方の目に留まって、何回も花瓶にアクセスがあつて、評価もしてくれ、具体的な評価ではないけども、興味を持っておるとい、ドジャースのカラーの釉薬は非常に興味があるもので、良いものができた。

2人で行って、ぜひ欲しいぐらいだったんですけども、これに近づけていきたいということで、これからの商品ということで、非常に期待をしておられるし、また、そういうものを勇気づけられたということで、市の今回の企画には非常にありがたいということで、感謝の気持ちがあるということがよく分かったし、また、非常に大事なことやなというふうに思っております。

もともと小さな窯焼きさんで、そんなオリジナル商品を開発されるというような雰囲気になかったところを、非常に励まして、今後に望みを持っておられるということで、大変いい機会だなというふうで、感心してきました。今後につながるといいます。

#### ○委員長（渡邊康弘君）

ありがとうございます。

質疑に関しては、全ての事業、皆さんの訪問先が終わってから、皆さんの意見をやりたいと思いますので、お願いいたします。

それでは、続きまして、日本ジオニックに行かれた、大久保委員、お願いいたします。

#### ○2番（大久保京子君）

すみません、私一人ちょっと用紙が違うのか。メモでバア一つと書いてて、それをそのまま送っちゃったんで、こういう感じで提出させていただきました。ごめんなさい。

それと、ここではもう本当に素直なお話をどんどんしていただいて、こちらもすごい「あつ、そうなんだね」といいう話ですごく共有する場面がいっぱいあつて、楽しくとい、失礼かもしれんけど、楽しくお話を伺うことができました。

ここに書いてあるとおりになんですけれども、ブラッシュアップ事業に参加するにあたっては、一番はやっぱりビームスジャパンといいう名前、それに非常にひかれたと。監修してもらった句ですよとい。先ほども言われてたけど、拍がつくといのはすごい意識的にあつたといお話を

されてみえました。

ちょうどそのときに、自社製品を自分たちで、今までこの会社っていうのは、あるものの、ある一部の部品を作るということで、社員さんたちも本当に自分たちが作ってる部品が、一体どういう製品になってお客さんの元に行くのかっていうのが全然分からない状況で、ただただ、失礼だけど、作ってるっていう状況だったそうです。

あまりモチベーションが上がらないというか、そういう感じだったんですけど、それじゃあいかんということで、ネット販売をしなきゃいけないということで、自社製品をということで、ゴルフのあれを作ったりとか、ここで言うと、パターやね。

それから、ペンダントライト、そういうのを作って、ネット通販しようとするんだけど、なかなかやり方が分からないというところに、タイミング的にちょうどよかったということも一つあったようなお話をされてました。

成果、効果ということに関しては、正直にめちゃくちゃ売れたわけでもないし、あまり1年目はやって良かったなっていう成果ではなかったと。でも、ただ、そのときにはビームスジャパン監修で製品を売っているっていう、自分たちの会社の拍がついたということで、2年目に関しては、金属製品のほかの素材、木製品であったりとか、陶器であったりとか。そういうのとコラボした商品開発をすることができたので、非常に勉強になったしよかったという話をされました。

そこでやっぱりモチベーションが低かったんだけど、一生懸命作った商品が直接、これがお客さんに行くっていうことに、すごい若い職員が多くって、その人たちが本当に丁寧に丁寧に仕事をやるように、今までも丁寧だったんだけど、より以上に丁寧にやるようになって、従来の部品と製品も、両方がすごいきれいな仕上がりができるようになったというのは、この事業を行ったことでよかったことかなということもお話されてました。

それで、事業に対して改善したい事項ということなんですけれども、お話の中で、多治見、土岐では、ふるさと納税、ここに書いてあるとおりになんですけど、ふるさと納税に関する手続にある会社を入れてて、そこが出来高の方針の契約なので、かなり一生懸命販売するというので、納税額がぐっと上がってるよということ。

それを土岐市なんかは倍になったんだよという情報をいただいていると。これを本市も取り入れたらどうかというお話もされてみえました。

今後の希望っていうのは、今、若手の職員が一生懸命、先頭に立って進めていってると。こういうことで、今まで瑞浪ではやってなかったんだろうと思うような、例えば、ナイトマーケットとか、そういうイベントなんかもどんどんやっているということで、そういうことは、もっともっと進んでやってほしいなということでした。

以上です。

#### ○委員長（渡邊康弘君）

私も日本ジオニックさんに行かせていただいて、お話をさせていただきました。

大久保委員がしっかり説明していただいたんですが、ブラッシュアップ参加事業に関しまして、

本当に自社のブランディングにつながった、PRにつながった、拍づけにつながったと言われたんですけども、それはすごく感じたということは言っていました。

特にパターとかに関しては、東京から直接お客さんが自分のパターを作りに来てくださるとか、そういったことにもつながってきていると。

大久保委員が言われたように、社員さんが直接お客さん、相手の顔が見えるということになったことによって、若手社員の意識改革というか、やりがいにつながってきたということをおっしゃっていました。

事業自体に対しても、本当にこういった瑞浪市の事業を、新しい取り組みをしてくださって本当によかったなど。瑞浪市が変わってきたなということを感じられたとされています。

事業自体の改善点として、準備期間が短かったことをちょっと触れておりました。本当に自社でそういうことがある程度できてないと、厳しんじゃないかなというところが一言触れられていたところでした。

あとは説明いただいたような形ですね。

それでは、続きまして、生活の木に移りたいと思います。

棚町委員からお願いします。

#### ○7番（棚町 潤君）

すみません。私もフォーマットが違って、申し訳ございません。

当初の説明どおりに、質問をするわけではなく、談話の中で、会話の中からいろいろと話を聞かせてもらったという中で、取りまとめさせていただきました。

事業に関して感じたことですが、どの会社でもそうですけど、やっぱりビームスという会社自体がユニークな会社であって、衣類だけではなく、雑貨も多く取り扱うビジネスを展開してるので、生活の木さんとしては興味を持たれたということだと思います。

生活の木の瑞浪工場に勤めるのは、瑞浪市の出身者が多くて、商品開発っていうのは、生活の木さんはもともと東京にある開発部で作って、それで、瑞浪の工場からは商品の仕入れっていうのかな。原料を送っとるのかな。ていう程度の仕事というか、作業をやってたんですけど、今回は瑞浪市のスタッフだけで作り上げるということで、新しい視点で社員が仕事に臨めて、会社として社員のモチベーションアップにもつながりましたし、十分に得るものがあつたんじゃないかということで、事業に関して感じたことを述べられました。

続きまして、ブラッシュアップ事業による成果や効果ですが、今回の商品開発がきっかけで、ふるさと納税品目を49品へ増やすことができた。あとは、「さとふる」と協力して、返礼品の特集ページを作成することができた。

あと、全国の系列店90店舗に、ポップを配置することによって、それには2次元バーコードが記載されておるんですけど、ふるさと納税への呼び込みを誘客することができた。

その展開によって、売上げが、3年間で、当初は137万円だったものが605万円と、4.4倍ぐらいの売上げを記録することができたということで、以降も続けてほしいという意見はあったと思いま

す。

事業の改善点については、特に大きな改善点はおっしゃらなかったんですけど、やっぱり引き続きやってもらいたいってことを述べられてたかなと思います。

今後、希望する事業ですけど、他企業とのコラボなんかができると、商品開発に厚みが出てきますし、これができるか分かりませんが、瑞浪エリアだけでなく、もう少し幅広く、東濃っていうくくりで行くと、何かもっと面白い企画ができるんじゃないかなっていう、そういうことを希望されてました。

その他、自由意見、最後ですね。動画などを見ると、瑞浪市が元気になってきているので、我々の会社も便乗したいということをおっしゃってました。観光協会についても、すごく動いているので、そういった「じゃらん」さんとのコラボも面白かったかなということでした。

最後、ワークショップなど、事を売ることがやっぱり今後重要になってくると思うので、そういった取り組みを仕掛けられるような自治体運営をしていただきたいというようにお話をいただいたかなと思っております。

以上でございます。

#### ○委員長（渡邊康弘君）

それでは、福永委員、お願いします。

#### ○1番（福永泰子君）

棚町委員が今、お話ししてくださったことありましたけど、全体を通して、結構言われたのが、やっぱり地域に関しての思いが強くなったってことで、実際出された香が、化石の得て、瑞浪をイメージして新しい香料を作られた、それもあって、瑞浪というものも一回立ち返ったっていうこともあって、瑞浪愛みたいなものがすごく大きくなったってことを、全体を通して言ってみました。

さっきもありました、今回の事業では、売上げが上がりました。あと、先ほどもあった開発、東京と瑞浪で分担作業をしていたものが、東京でやってる開発を瑞浪ですること、先ほどもおっしゃった、一つのこと、全部をこの工場で完結したことによって、やっぱりやる気、ただ東京が開発したものをやらされてる感ではなくて、自分たちが開発したものを自分たちで作り上げるっていう、モチベとか達成感ってものが上がったってことで、参加してよかったってことはすごく言ってみました。

また、商品開発とかは別とはまた話が替わってくるんですけど、今回、瑞浪に対する思いが強まったことによって、製品を売るだけじゃなくて、もうちょっと社会見学とか、そういった域学連携とかっていう、そういったものがあるのであれば、そういうのにも参加していきたいので、どんどん教えてほしいということでした。

観光との連携ということであると、ふるさと納税で売上げが上がれば、地元貢献できてるなっていう気はするんですけど、ただ、瑞浪は来てもらったお客さんにお土産として買って帰ってもらうっていうのがやっぱり少ない、目につかないという感じがするので、もうちょっと市内でいろん

な、こういうブラッシュアップとか、参加した企業とか、やっぱり地元のを頑張って作ってるので、そういったものを、瑞浪に遊びに来て買って帰れるっていう、そういった場所も必要なんじゃないかなっていうことを言ってらっしゃいました。

改善点を何回も聞いたんですけど、いや、悪いところは、全然出てこないという感じで、取りあえずひたすらよかったっていう話をしていただきました。

以上です。

#### ○委員長（渡邊康弘君）

それでは、深山プランニングをお願いいたします。

榛葉委員から、よろしくお願いします。

#### ○4番（榛葉利広君）

深山プランニングさんに伺ってきました。

まず、参加して感じたこととしては、2回参加されておるんですけど、1回目は、なかなか勝手が分からず苦労したけども、2回目は、要するに形状は今あるものを使って、釉薬を変えたりとか、そういった工夫でできるようになったので、進めやすくなったと。

大枠としては、共同開発できて非常に良かったということでした。

あとは、要するに消費地の目線での意見がもらえたので良かった。

それから、広告効果は皆さんおっしゃったように、ビームスの効果で大いにあった。SNSも連動して新しい顧客も増えたということでもあります。

成果や効果については、売上げを、言わなくてもいいですよとお断りしたんですけど、2年間で30万円と言われたかな。生活の木さんと比べるとかなり厳しいなと思うんですけど、そう悪いとは言われなかったんですけど、やっぱり経営者目線で言うと、こんなことじゃ困るって言われました。

これはビームスの名前を活用した販売促進活動で、もっと発信が多くなれば、販促になる可能性もある。販売促進ということね。ということです。

改善してもらいたい事項としては、発信がもう少し活発にできたらどうか。要するにインスタにもうちょっと発信してもらいたいっていうことでしょうかね。

あとは、これは陶器業界の独特なものかもしれないですけど、企業間取引がもうちょっと利用できないかということでした。

ほかの企業さんでは、家族経営の場合で大変だったと。瑞浪市として小規模な企業さんをもうちょっと応援してあげる方法はないかと。そうすれば、家族経営のところでも利用できるようなんじゃないかという御指摘もありました。

あと、継続性というものです。深山さんは2年やっとなんですけど、これ引き続きやらせてもらえればもっと成果が出るかもしれないという御指摘がありました。

希望する事項としては、先ほど言った継続するっていうことね。それから、もっと気軽に参加できる仕組みがないとか、これも最初に言いましたけど、経営者との感覚の違いがある。それから、

これもさっき言ったね。メーカーと問屋のコラボ。

あと、これ面白いなと思ったのは、梱包に問題があったってことは、要するにその深山さんから直接お客さんに送付しなあかんのやろね。そういうノウハウがなかなかないので、もうちょっと、一番大事なところ、製造のほうにもうちょっと注力を置きたかったというような意見がありました。

あと社員向けの勉強会を開催していただけるとありがたいという意見もありました。

そんなところですかね。

もう一つ、自由意見として、深山さんは今回、2023年度もやられたんですけど、後でやられる人に情報提供ができるような場があると、後でやられる企業さんも助かるんじゃないかという意見がありました。

そんなところですよ。

#### ○委員長（渡邊康弘君）

ありがとうございます。

では、三輪田委員、お願いします。

#### ○6番（三輪田幸泰君）

私は榛葉委員と同じようなことなんですけど、深く感じたところは、やはり動機としては、淡々と販路拡大、広告媒体としての活用ということで、少しでも欲しいということで参加されたということですね。

あと、成果や効果は、やはり新規開拓に、今すぐ、一年そこらでなるというふうに思っておらんですけれど、商会的にはそんなに大きくなかったということですね。

あと、改善点としては、おっしゃったことが、ビームスと、事業者との打合せが3回であって、その1回目がファーストコンタクトであって、それこそ密にならずに終わってしまったような感がありまして、それこそビームスが当然、主導権を握っておりますので、そこら辺が分からずじまい。もう少し深く打合せをしたかったと。

あと、一年という時間がやはり短かったということで、事業的に単年になっとるんですけど、やっぱり先ほど榛葉委員がおっしゃったように、継続性を持って、少し長くやると、やはりビームスさんの思いと事業者の思いというのが、もう少し練り込めたんじゃないかというふうにおっしゃっていました。

あと、その他で、ちょっとこれはまた別口なんですけれど、社長がおっしゃったのは、やはりこの事業とビームスの進め方と関わり方と事業者と、この3者が分かり合える前に時間だけたってしまって、事業者が取り残されとると。

先ほどのネット環境の話も、いろんなやり方もそうなんですけれど、やはりICTに、深山さんはそういうことなかったですけど、そういうネットの絡みで少し困っておられる事業者さんがおいでだったといううわさを聞かれたみたいです。

事業者さんの反省会じゃないですけど、座談会で、うちはこうだった、うちはこうだったって

う、そういうものがあれば、またそこで前へ進めるんじゃないかっていうのはおっしゃってました。個人だけやなしに、その中でお互いに座談会みたいなものをやると、また次へつなげるんじゃないかということはおっしゃってました。

○委員長（渡邊康弘君）

はい、ありがとうございます。

これで一通り説明いただきました。この説明に対して、中でとか、企業さんに対して聞かれた中で、このことを聞きたいよということがありましたら質問していただければと思います。

3番 加藤輔之君。

○3番（加藤輔之君）

その後、これをどういうふうにしてまとめるの。

○委員長（渡邊康弘君）

これ本当に皆さんの意見で、非常に前向きにという、継続してほしいという意見が多いので、そちらを主軸において、今年度の予算は終わってしまいましたので、次年度も一応取りに行っていたきたいというところをまず1点。

改善点としましては、継続性であったりとか、これちょっと予算の関係で、一年ごとの短期なので、試算でもそういったところをちょっとフォローする形で、前から入れられるんじゃないかとか、そういうのも意見として言っていくべきなのかなとも考えています。

あとは、今、榛葉委員とか三輪田委員が意見を言われた中で、あるのが反省会と企業ごとの意見交換会のそういったディスカッションする場を設ける必要があるのではないとか、そういった提案も必要だと思います。

今回いただいた意見をちょっと一回まとめて、こういうふうな事業にしたらどうかというのを一旦、私が作らせていただいて、またちょっと次回に皆さんの元にそちらの資料で、こういったような形で提案したらどうかというところを挙げて、お渡ししようかと思ってます。

いただいたこの改善点であったりとか、いう部分をまとめさせていただいて、市のほうに伝える。だから、たたき台を作った時点ですぐにまた委員会を開催して、それを提言につなげていきたいと思えます。

3番 加藤輔之君。

○3番（加藤輔之君）

今回の企画、非常によかったと思うわけよ。予算決算委員会の副委員長として、これは来年の事業評価につながるなと思って、その前哨戦やと思ってこう見とるわけですけども、そういう点で非常によかったというか、非常に参考になる。

また、地場産業振興という、陶磁器関係でも2つ絡んだらわけで、本当、現場の意見が、今の時点でこんな新しい企画をやって、どんなふうに業界が今、動きよるかという。まあ、一部やけども、よう分かった。

非常に貴重な面談だというふうに思っておりますので、よかったというふうに思います。

生活の木にしても、深山にしても、もう今、先端企業なんで、あらゆるノウハウを持つとるわけです。既に。それで、直販も含めた、自分の販売ルートもきちっとしとるし、常日頃、そういうことに神経を使ってやっとする。

だから、今回のビームスの件についても、非常にうまく彼らは使うだろうというふうに予想しとったんやけど、もう一つのヤマスエさんたちなんか初めてやし、本当にそれをうまく使いこなせるかっていう点で非常に疑問を持って見とったんやけど。

そういう点でも、せっかく今、商品開発して新しいものを作って、ヒット商品になるだけのものを作っとするんやけど、それをどうやって売ったらいいか分からんということで、営業の仕方も分からんという、その辺を、本来は自己責任でやらなあかんけど、そういうことを今、一部、その辺をビームスから見て行政支援としてやってくれっていうんだらうと思うど、その辺がやっぱり今後の課題。課題はそこまで大サービスをする必要がないかもしれんけど、それがまた引っかけたんや。

#### ○委員長（渡邊康弘君）

今年のブラッシュアップ事業が、販路とかそういったところの部分をちょっと触れて、サポートする形にはなってきたと思います。

ただやっぱり、事業者さんによっては、母体の力、そういったところの事業後のサポートであったりというのを、別事業も含めて検討いただきたいとか、そういった文言も入れてもいいかと思うんですけど、皆さんどう思われます。

1番 福永泰子君。

#### ○1番（福永泰子君）

思いついたことなのであれですけど、瑞浪市には商工会議所というところがあるので、そういうとき、市だって。商工会議所は市のあれではないですね。なので、そういうところで私も、結局は連携。市は全部を負うのではなくて、ここまではやって、あと、事業者さんの努力があってって考えたら、そういう巻き込み、関係者がそれぞれが持ち寄ってっていうふうにやっていけばいいと思うので、市だけで頑張ろうではなくて、そういうふうな形に持っていけたらいいのかなって思っています。

#### ○委員長（渡邊康弘君）

商工会議所からいただいた本とかには、そういうことも書いてあったので、そういった部分で市と商工会議所と企業と、オール瑞浪で動ければというところがあると思いますので、またそういうところも踏まえて、皆さんの御意見をまとめさせていただきたいと思います。

一旦、私のほうでまとめて、また皆さんに確認するという形でよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

はい、そのように。

#### ○7番（棚町 潤君）

これ見てみると、生活の木は本当、イケイケドンドンで、どんどんやってくれっていうイメージですけど、深山さんとかは、これ文章を見たり、松崎さんとちょっとしゃべったのを思い出したん

ですけど、そんなに積極的ではないというか、っていう意見もある。

これどうやってまとめられるかと。両極の意見があるんですけど。それで、この。みんながそろってればまとめやすいと思いますけど。

○委員長（渡邊康弘君）

2番 大久保京子君。

○2番（大久保京子君）

それぞれ、両方でいいんじゃないですか、正直にね。この意見を。

○委員長（渡邊康弘君）

お金の出どころが市税であるということ、じゃあ、税金っていう部分を気にされてました。

それだけお金を投入する価値が、事業としてはやってよかったっていうところもあったんですけど、そこら辺言われてて、国の事業で半分出ますよっていうことを説明されたら、ああ、そうなんだって。

そうであればっていうぐらいの感覚では回答いただいてたんで、そういった、言われたところで、懸念材料はこういうところもあるよというところも踏まえた上で、大枠としてこういった形の御意見があったというところで、執行部のほうには出していけばいいのかなと考えています。

3番 加藤輔之君。

○3番（加藤輔之君）

予算規模はどれぐらいやった。自力で。

○委員長（渡邊康弘君）

半分がデジ田の交付金になってます。デジ田交付金の事業として、ブラッシュアップ以外の事業でも、PR動画だったりとか、そういうパッケージがあって、その中の一つの事業としてこのブラッシュアップ事業があると。

それが3年間の事業であって、またデジ田交付金が取れるかどうかというのもあるんですけど、いろいろその事業を少しずつ変えていく中で、こういうふうな形で、全体の流れの中でこうしていきたいというふうに上げていかないかんで、そういった部分も踏まえた上で、こういった変化を持って、未来に対しての効果がありますので、後で続けた、来年度もこの交付金を取って、こういう事業として続けられたらいいかっていう方向性で提案書を。

市単でやるっていう話だと厳しいな。補助金を取っていくのであれば、ぜひとも活用したい企業さんが多いので、そういった提案につながってくるんじゃないかなと。

そんな形でまとめさせていただこうかなと思っておりますが。

○3番（加藤輔之君）

その辺の費用対効果を考えているんだろうな。

○2番（大久保京子君）

そういうこともいろいろあって、委員長がまとめていただければいいかと思うんです。で、提出していただければいいと。

これに参加したいという事業者もまだ見えると思うし、これによって、もう辞めようかなという事業者も当然いるというのは事実なんで、それはそれで真摯にやらせていただければいいかなと。

○委員長（渡邊康弘君）

全ての事業が100点満点ということは行かないので、私たち議会が提言をして、修正点は言っていく、チェックしていくということになってくると思います。

そういった意味で政策提案という部分もありますので、せっかく、こうやって企業さんを訪問させていただいて、企業さんから意見をいただいておりますので、その辺もしっかりと受け止めた上で、良い部分も悪い部分も、しっかりと伝えていけるような内容で一回作らせていただいて、また委員会で諮った上で、合意を取った上で執行部のほうに提言したいと思いますので、お願いいたします。

○7番（棚町 潤君）

ちょっとよろしいですか。

○委員長（渡邊康弘君）

7番 棚町 潤君。

○7番（棚町 潤君）

確認ですけど、先ほどの委員長のお話ですと、結局は財源が取れば、続けるよというお話だったと思うんですけど、そういう認識でまとめられるっていうことでいいんですか。

○委員長（渡邊康弘君）

大前提として、財源を取りに行っていきたいというところですね。これだけ評価がある事業なので、同じように続けていっていただきたいという方向でよいかとは思いますが、どう思われます。一旦。

○7番（棚町 潤君）

基本的に市がこれに取り組んでるのは、ふるさと納税との関わりがあるからだと思うんですね。なので、これだけの事業に投資をして、ふるさと納税がその分増えるのであれば、別に市単の予算でもいいような気がするんです。なので、その辺も踏まえて検討したほうがいいんじゃないかなと僕は思ってますけど。

その辺はふるさと納税という感覚と、一事業者、一経営者としての感覚やと、深山さんとB to Bの話が出てきたりするんですけど、やっぱりブラッシュアップなんで、商品をブラッシュアップして、どれだけB to Bで売れるかっていうのを考えてみえるけど、市としてはふるさと納税が増えるかどうかというところを目的に持ってるので、その辺がやっぱりずれてるのかなっていうふうには感じるんですけど。

その辺はそろえていったほうがいいかなと思うんですけど。

でもやっぱり市が予算をつけるのであれば、ふるさと納税っていうのは切っても切れない成果、目的にはなるかなと思いますけど。

○委員長（渡邊康弘君）

はい、分かりました。そういった部分の税収も踏まえて、市単でもいいので、これもふるさと納

税が増えるのであればということなので、そういった部分を踏まえて、文言には一つ入れさせていただきます。

それでは、皆さん、こうやって意見をいただきましたので、それを取りまとめさせていただいて、また次回の委員会で諮る、まとめが終わり次第、委員会でちょっと諮らせていただきたいと思いますので、お願いいたします。

ここで、暫時休憩を取りたいと思います。

午前10時・分 休憩

---

午前10時・分 再開

**○委員長（渡邊康弘君）**

では、休憩前に引き続き会議を進めたいと思います。

---

**○委員長（渡邊康弘君）**

次に、2、その他を議題とします。

まずはじめに、視察先と日程が決まりましたので、確認いただければと思います。

8月5日（月）に千葉県松戸市のひがまつテラスに行きたいと思っております。これは駅北公共施設に近いような施設で、これも駅に近隣施設という形で、図書館、支所、青少年プラザなど、公共施設を集約した施設になります。

その次の日に千葉県鴨川市に伺う予定です。千葉県の鴨川市総合交流ターミナル「里のMUJI みんなみの里」について、この視察を行います。

これは、無印が運営する、道の駅みたいな施設で、それ以外の道の駅のほうも運営されておられるんですけど、こちらは非常にこれから瑞浪市が目指す釜戸の道の駅のスタイルに近い、参考になるというところで、こちらに行く予定になっております。

また、無印の担当者も来て説明いただけるということなので、いろいろ細かい説明をしていただけることになっておりますので、お願いいたします。

なので、5日、6日としっかりと予定空けていただければと思いますので、お願いいたします。

---

**○委員長（渡邊康弘君）**

次に移りたいと思います。

6月28日の委員会にて、駅北再開発について説明していただきます。その後、そのアンケート内容を皆さんで協議して、どういったアンケートにしていきたいかを決めていきます。

それで、アンケートをするという形になってはいるんですけど、議会ちゃんねるで今、うちの委員会の動きというのと、七夕まつり等でアンケートを実施しますよっていうのを上げるんですが、そのアンケート内容をQRで、過去に、議会としてそのアンケートを取ったときに、これは使えますよっていうのをちょっと昨日聞きまして、もし議会ちゃんねるにもWebアンケートですね。瑞浪

市民の皆さんに見てもらえるのでWebアンケートもできるよっていうことを言われたんですけど、それをやるかやらないか。

議会ちゃんねる、入稿の関係上、ここで決めないと、QRコードをつけるかつけないかだけの判断になるんですけど、幅広く意見を広聴するって意味では、私はそのままQRコードをつけたいなと思うんですが、アンケートなんか決まってないかなという、ちょっと懸念される方もおると思うんですけど、アンケート内容は28日で本当に皆さんしっかりと協議して決めるので、いいかなとは思いますが、皆さんの考えは。

28日に事業がどういうものが聞いて、アンケートの内容を決めます。

そうしないと、7月中に文化センターと図書館、また、8月ははじめの七夕に顔を出すことができないので、そういうふうに進めますよと、皆さんの委員会で決めてますので、そのための。で、内容をしっかり確認した上で作ろうという話になりましたので、そうやってちゃんと執行部からの説明で、大まかに決まった計画を聞いた上で作るということで動きますので。

3択だったり、シンプルな形のアンケートになってくるっていうことで、前に榛葉委員が提案していただいた形を進めて、それでやろうと思ってますので。

そのアンケートを議会ちゃんねるにQRを載せてやりたいと思いますが、いかがでしょうか。

○3番（加藤輔之君）

賛成。

○委員長（渡邊康弘君）

加藤委員から賛成という意見がありましたが、皆さんも賛成の方向でよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

別段意見ありませんので、皆さん、同意いただいたという形で進めさせていただきたいと思えますので、お願いいたします。

○3番（加藤輔之君）

ちょっと待つて。

○委員長（渡邊康弘君）

3番 加藤輔之君。

○3番（加藤輔之君）

アンケートをなるべく早いとこ、こういうことを考えてほしいことを教えてほしいよ。突然、ばあんと言われて、その場で反対する、判断せえっていうのは言わんようにしてほしい。

○委員長（渡邊康弘君）

アンケートについては、その場で判断するのに近い形になってしまうと思います。なぜかという、今、計画がいろいろ変わってた中で、しっかりしたものが6月28日までに一生懸命、執行部が準備してくれると。

6月28日の委員会、本会議終了後の午後ですね。委員会を開催して、しっかり説明を受けた上で、その説明に基づいて、不足な点はないかと、こういうことを市民から、広聴を掲示したほうがいい

んじゃないかとか、そういった部分を絞って行って、皆さんの意見をまとめた上で、どんなアンケートにするか。

時間がかかるかもしれないんですけど、しっかりしたものにしたかったので、御協力いただければと思います。

7番 棚町 潤君。

○7番（棚町 潤君）

今の話、28日にアンケートを作らないかんのでしょ。

その勉強会があって、その勉強会の結果に基づいてアンケートを作るっていうことでしょ。それを28日のうちに1日でやっちゃうっていう話やったよね。

○委員長（渡邊康弘君）

大まかなものは固めて、皆さんでこれでいこうっていうふうにしなないと。もともとその予定で。

28日に完成したいです。若干の修正とかは、その後にあると思いますけど、もともとこれまであった事業で、大きな流れとしては皆さん当然理解されてるものかと思います、駅北再開発。

その中でどういった形で決まったという、やっていくっていうところを説明いただくので。

○7番（棚町 潤君）

加藤議員の御説明は事前にある程度たたき台を作って見せてほしいと。28日に勉強会をして、それをさらにブラッシュアップしてやるっていうのならできると思いますけど、28日の勉強会をやった後に急に作れって言われても、できるかな。

○委員長（渡邊康弘君）

2番 大久保京子君。

○2番（大久保京子君）

今まで委員会をやってきて、そのアンケートについても榛葉委員から御意見をいただいた内容とか、ああ、こういうふうな、おおよそこんな感じなんだねってことはざっくりと分かっていますよね。

○7番（棚町 潤君）

じゃあ、たたき台できますよね。

○2番（大久保京子君）

ん。

○7番（棚町 潤君）

じゃあ、たたき台できますよね。今の段階で。

○2番（大久保京子君）

いや、だけども、っていうことやないの。ちゃんと。

○7番（棚町 潤君）

28日の1日で作るっていうのは無理がないっていう話をしとるんやけど。

○委員長（渡邊康弘君）

もう一度説明しますが、たたき台を作ることはできます。ただ、たたき台を作ったとしても、28日の説明で、今までの事業の中で本当にね。よっぽどないと思いますけど、例えば、過去の計画の中でも、保育施設を引っ張ってきて、ぼけっとぶつけてとか、そういうのがあったじゃないですか。

そういうのがなくなってしまうと、それに対するアンケートを作っても、それヒアリングしますよっていってもおかしい話になりますよね。

なので、28日にしっかりと説明をした上で、この方向性を理解した上で、協議を進めていきたいと。

ある程度、想定してっていうところであれば、できないことはないので、もう本当に、皆さん忙しいかと思うんですけど、次の来週中に皆さんから、この質問はどうかという意見を出していただければ、それを28日までに私がまとめて、3択とか4択とかみたいな形の質問形式に作ることは考えております。

私一人だと、私の意見が偏ってしまうので、やっぱり皆さんから各事業を捉えて、勉強されてると思いますので、今までの事業の流れも含めて。

フォーマットは、形式は問いませんので、21日の金曜日までに出していただければ、一週間ありますのでまとめることができますので、せっかく棚町委員からそういう意見もありましたので、皆さんから意見をしっかり出していただければ。

○7番（棚町 潤君）

それを取りまとめて、事前に僕らのところに提出してくれるっていう。

28日までに、加藤委員は目を通したいと。僕だって目を通したいと思って。

○3番（加藤輔之君）

委員長の試案でもいいで、勝手な案でもいいで、提案してくれりゃあ、よう分かるけどな。事前に。

○委員長（渡邊康弘君）

委員の皆さんの意見をいただくっていうことが大切だと思いますので。

○3番（加藤輔之君）

このアンケートは、デリケートなことを含んでおるんで、慎重にやるべきやと思うので、余計に事前にみんなそこを知つとかんと、バタバタと作っちゃうっていうわけにいかんような気がするな。

○委員長（渡邊康弘君）

加藤委員が事前に皆さんの意見、よう相談しないかんと。今、委員長の意見って言われたんだけど、皆さんの意見があった上で作ったほうがそれはいいと思うので、現行の計画、出てるのを踏まえた上で、そこから出すっていうことは、どの委員もできるかだと思いますので。

1番 福永泰子君。

○1番（福永泰子君）

28日、今、Webに載せるかどうかが一番最初の質問だと思うんですけど。載せるとなったら、

最終いつでしたか。

○委員長（渡邊康弘君）

Webに載せるのは、QRコードを載せるかで、内容は議会ちゃんねるが。

○1番（福永泰子君）

発行されるまでに作っとけばいいということですね。原稿自体は。

○3番（加藤輔之君）

28日に決めちゃわないといけないと、俺もそう思った。

○1番（福永泰子君）

予定ではそうでしたけど、熟考が必要やというなら、28日に一旦作ったのを持ち帰って、一週間ぐらいはそれぞれで、一週間後ぐらいに意見を集めて、最終これでいいですか。図書館とかも行かなあかんのでっていう予定を考えると。

○委員長（渡邊康弘君）

図書館とかに行くにあたって、内容がある程度決まっていなくて、これとこれをしたかったので、この日に行かせていただきたいというのをなかなか。

○7番（棚町潤君）

これって、アンケートの内容って、議会運営委員会にかかる。

○委員長（渡邊康弘君）

今回のブラッシュアップのアンケートも議会運営委員会にかけてない。

○7番（棚町潤君）

対象が違うね。ブラッシュアップはもう関わった企業へのクローズな団体やもんで、聴取でいいと思うけど、今回、不特定多数やからさ。

○委員長（渡邊康弘君）

七夕まつりっていうところを取って、議長が議会で行ったらどうかということもあったので、必要であれば委員会（案）として、こうやって議会運営委員会に上げることは、僕はこの案で行って、七夕まつりでやりたいですと、上げること、流れはできると思うんです。

そういったところで、皆さんで、議会運営委員会を通して、全議員に協力要請を出すということも可能です。

5番 奥村一仁君。

○5番（奥村一仁君）

アンケートをこの委員会メンバーだけでやるなら、議会運営委員会に諮らなくてもいいかなと思って、全議員でやるなら、議会運営委員会に諮る必要はあるかなと思います。

さっきちょっと戻りますけど、さっきのQRコードの件で、議会ちゃんねるの紙面に質問内容を載せるなら、6月28日までに決めて、7月1日までに原稿を出していただくとありがたいですけど、QRコードをつけるということが決まったので、QRコードに質問内容を読み込んでくださるということなら、6月28日締切りじゃなくても大丈夫だと思いますので。

○7番（棚町 潤君）

ちょっと確認していいですか。

○委員長（渡邊康弘君）

7番 棚町 潤君。

○7番（棚町 潤君）

今、QRコードを載せるので僕はオーケーやと思ったんですけど、それでアンケートの文面まで載せるのであれば、6月28日までというそういう意味で。

○委員長（渡邊康弘君）

今、皆さんの御提案で、私も文面を載せる気はないので、間に合わないかと、全く間に合わないんで。

そしたら、28日にもう皆さんの意見を参考に、28日に聞いた上で、皆さんから意見を提出していただいて、書面で。それを踏まえた上で、また再度委員会を開いて、そこでアンケートを作るという形で、熟考する時間が必要だということなので、どうでしょうか。

また、一週間ぐらい委員会開催となり、28日の後の一週間以内に委員会開催となりますが。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○4番（榛葉利広君）

多分、GoogleホームのQRコードを載せるだけなら、大体を作っとして、後から変更可能なので、それは可能やと思います。

要するに今、QRコードさえ載せとけば、内容は後で変えられるので、多分大丈夫やね。一週間ぐらい間をいただければ決まるんじゃないかなと思って。

28日に全部決めちゃわなあかんっていうことやなくやね。

○委員長（渡邊康弘君）

Googleではなくて。

○4番（榛葉利広君）

ロゴフォームか。

○7番（棚町 潤君）

28日以降にもみんなで。

○委員長（渡邊康弘君）

そうですね。28日に勉強した上で、その後、一週間ほど設けて、アンケートなら決めるということで。

○1番（福永泰子君）

何を聞きたいかを聞いて、たたき台を作って。

○委員長（渡邊康弘君）

28日に話を聞いていただいた上で、多少、意見をそこで言っていていただいて、正副委員長で協議してたたき台を作って、そこですり合わせていくという形でどうでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

そのような形で進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○7番（棚町 潤君）

あと、もう1点。

○委員長（渡邊康弘君）

7番 棚町 潤君。

○7番（棚町 潤君）

これ全然、委員会視察について聞いていいですか。行程が知りたくて。

○委員長（渡邊康弘君）

まだ。改めて皆さんにちゃんとお配りしますが、ある程度はもう固まっておりますので、またDropboxに入れる形を作ってもらったら入れますが、説明だけさせていただきます。

8月5日は7時44分に瑞浪駅発で。2日目に帰ってくる時間が、おおよそ19時20分に帰ってくる予定になっておりますので。

多少変更があるかと思うんですけど、ちょっと今、遠山さんと調整しながら作っておりますので、それができ次第、Dropboxに入れますので、おおよそ、朝はそれぐらいの時間に出発して、それぐらいの時間につつがなく帰ってくるということで認識しておいていただければと思います。

ほか、その他よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

---

○委員長（渡邊康弘君）

これをもちまして、令和6年第8回地域経済建設委員会を閉会いたします。

お疲れ様でした。

午前10時25分 閉会